

## 卒業、おめでとうございます

3月12日（火）は卒業証書授与式、中学校では、1年で一番大切な行事です。

卒業旅行で少しリラックスできた3年生も、翌日の公立高校の後期試験の発表までは、実は緊張しているのがよくわかりました。

「入試は団体戦!」、この合い言葉で、皆で励まし合い、支え合ってきた3年生。今日の卒業式を最後に、それぞれの道を進んでいきますが、ここ嶺南中をひとつの心の故郷として、いつまでも胸に止めていてくれると嬉しいなと思います。

4月に赴任してきた校長は、1年間しか3年生といっしょに生活できませんでしたが、思い出は山のようにあります。

- ◇「嶺南旋風」……各部活動では、たくさんの大会で優勝したり入賞したりと輝いてきた3年生。
- ◇「修学旅行」……仲間とともに歩いた修学旅行。何を観ても感動する、素直な仲間たちでした。歩いた、歩いた!
- ◇「体育祭」……和田校舎での体育祭。あんなに熱い応援合戦、夢中になって踊るソーランを観たのは何年ぶりか。
- ◇「文化祭」……A組・B組、異なる個性を發揮した学級合唱。学校代表として市の音楽発表会で歌った3年生は圧巻でした。他校の校長から「嶺南中はなんであんなに上手なの?」と何度も聞かれました。
- ◇「面接練習」……校長室に何度も足を運んで、繰り返した面接練習。話す中で進路に対する思いがどんどん膨らんで、「校長先生、オレ、やりたいことが自分ではっきり見えてきた!」という生徒もいました。
- ◇「日々の授業」……これだけは本気になるまでに時間がかかりましたね（笑）しかし、本気になって取り組んだ生徒たちは、ぐんぐん伸びました。伸びしろのある人たちですから、高校で本気になって勉強すれば大きく伸びるはず、と期待もしています。
- ◇「卒業式」……「式も団体戦!」、練習で見せた3年生の姿は、それはそれはびしょっとして頼もしいものでした。今日の授与式本番もすばらしいものになるでしょう。

## 1・2年生、ありがとう

5日（火）には、「3年生を送る会」があり、それぞれの学年が趣向を凝らして、3年生に感謝の心を伝えました。



さて、当日のプログラムは……。

まずは、実行委員会と生徒会総務による開会セレモニー! 寸劇が開場を湧かせます。

現3年生が行った、去年の寸劇の一場面を取り入れたことで「つかみ」はOK。観客の心はほぐれていきます。次に出たのが1年生による漫才で、掛け合いの妙はプロ並み。「間」と「センス」の良さを見せてくれて、開場は何度も爆笑。男子のダンスも見事で、蛍光の灯りが飛び交う舞台には目を奪われました。（後で聴いたら、これは「ダンス」ではなく「ヲタ芸」というそうで、振り付けはみんなで作ったとのことでした。）

続いて、1年生の発表は、劇&影絵&合唱。

別世界に行った3人組がさまざまな心の体験をして現実世界に帰ってくる、というファンタジーでしたが、3年生に思いを伝えようと一生懸命演技する姿に、1年生の熱い思いを感じました。

また、スクリーンに映し出された景色の中に本物のシルエットを入れて3年間の思い出を表現する「影絵」には、前半の「動」に対してしみじみとした「静」の美が感じられて、これも心に残る一場面となりました。合唱はいうまでもありません。3年生への感謝の心と共に、自分たちの成長を示す、素晴らしい合唱でした。

2年生は、昨年よりもグレードアップした劇で、衣装・装置・演出ともなかなかのもの。笑いのツボもしっかりと押さえられていて、爆笑の連続……、と後でDVDを見ました。（出張なので、冒頭シーンしか見られず……）

演出も随所に大人っぽい笑いが散りばめられていて、さすが2年生!と思われました。

最後は、1・2年生全員で創作した折り鶴「飛翔」の発表と「3年生、思い出のアルバム」視聴。

自分たちの3年間を画像で振り返り、しみじみとした気持ちになった3年生もたくさんいたそうです。

「3年生を送る会」の目的は、3年生に感謝の気持ちを伝えるとともに、1・2年生が団結をより強固にして「後輩に学校を任せても大丈夫」と3年生に思わせること、そして、表現力を高めることです。

そうした意味で、大成功、そして、成果の大きかった「3年生を送る会」だったと思います。

生徒会総務と実行委員、そして、全校生徒の皆さん、すばらしいひとときをありがとう。

